



## 目 次

第1章 序論	1
第2章 水試料	3
2.1 試薬、器具および装置	3
2.2 分析操作	5
第3章 灰試料	12
3.1 試薬、器具および装置	12
3.2 分析操作	14
第4章 土試料	20
4.1 試薬、器具および装置	20
4.2 分析操作	22
第5章 降下物	28
5.1 試薬、器具および装置	28
5.2 分析操作	30
第6章 大気浮遊じん	37
6.1 試薬、器具および装置	37
6.2 分析操作	40
第7章 焼結プルトニウムを含む環境試料	46
7.1 試薬、器具および装置	46
7.2 分析操作	48
第8章 電着方法	55
8.1 試薬、器具および装置	55
8.2 電着操作	58
8.3 再電着操作	59
第9章 放射能測定	61
9.1 計測装置	61
9.2 測定	64
9.3 計算	65

第10章 試薬の調製 .....	73
10. 1 放射能標準溶液 .....	73
10. 2 試薬 .....	74
10. 3 陰イオン交換樹脂カラムの調製 .....	77
(解説)	
〔解説 1〕 土試料の酸浸出法の違いによるプルトニウムとアメリシウム の抽出率 .....	78
〔解説 2〕 本分析法におけるTh、Uの除染係数 .....	80
(付録)	
〔付録 1〕 プルトニウム、アメリシウム同位体の核データ .....	82
〔付録 2〕 クロスチェック結果について .....	83
〔付録 3〕 プルトニウム・アメリシウム逐次分析法の流れ図 .....	85
〔付録 4〕 参考文献 .....	95

